

企画総務消防常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、9月21日(水)に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・ 議案第70号、 議案第71号、 議案第72号
議案第73号、 議案第74号、 議案第75号
議案第76号

【主な質疑】

- 議案第72号に対して
 - Q 条例廃止後は、現弓道場をどうするのか。
 - A 令和5年度中に解体予定である。
- 議案第73号に対して
 - Q 3対で2,585万円と高価な国際基準にあったバスケットゴールを3面分揃える必要があるのか。また、一般の貸し館利用時の備品は、自分たちで設置するというのか。
 - A 大規模大会を行い、3面同時の使用を前提に考えている。基本的には備品等は利用者で設置していただくが、扱いの難しい備品は、指定管理者も一緒に行く。

○議案第74号に対して

- Q 16年ぶり更新の災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の価格が前回より、また他市と比べて高価で差異があるのは、どういうことか。
- A 新型コロナウイルス感染症の拡大に起因する部品供給不足や消防車両の原材料価格の2割以上上昇、さらに車両装備が特殊であるため高額となる。

○議案第76号に対して

- Q 損害賠償金を支払う今回の被害について、公開された被害情報に含まれていなかったが、情報公開すべきではないか。
- A 相手方があり報道資料には記載をしなかったが、議会へは原則開示が必要であり、一定整理しながら情報公開する。

【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

交通弱者の移動手段確保のため彦根市福祉バス制度の復活を求める 請願を採択

福祉病院教育常任委員会は、9月22日(木)に委員会を開催し、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・ 請願第1号

【主な質疑】

- Q 本市の福祉バス制度が廃止された理由は。
- A 本制度の本来の目的や、運用上のルールから逸脱しているのではないかと考えられる利用が散見されるようになったことや、利用団体が固定化されてきたこと、行政評価委員会からの指摘等があり、廃止された。
- Q 湖東定住自立圏域で福祉バス制度のような交通弱者の移動支援は実施されているのか。
- A 各々の独自の取組は把握していないが、湖東定住自立圏構想の中で設置している湖東圏域公共交通活性化協議会が運行している、愛のりタクシーがそのような機能を有していると捉えている。

【主な討論】

- 賛成 運転免許証の自主返納が推進される中、健康寿命を延ばすためにも高齢者等の移動手段の確保を一層支援することは必要であり、今後は、福祉バス制度が廃止された理由を踏まえた制度の検討や、受益者負担等を十分考慮いただき、本請願の採択に賛成する。

【結果】

- ・ 請願第1号は採択

令和3年度の各会計決算を認定

議案第77号、議案第78号、議案第79号、議案第88号の審査のため決算特別委員会を設置し、10月5日(水)・6日(木)・7日(金)に委員会を開催しました。

委員長：上杉 正敏 副委員長：小川 隆史

委員：谷口 典隆 森野 克彦 長崎 任男 堀口 達也 中川 睦子 森田 充 小川 吉則 黒澤 茂樹

委員からの主な質疑の概要

企画総務消防常任委員会が所管する事項

【全体】経常収支比率が大幅に改善している状況の分析について。

【歳入】法人市民税が大幅増になったことに対する予算見積もりの妥当性について、また不動産収入が増加した理由について。

【歳出】減債基金積立金の内容、自主防災組織の設置状況、BPR実証実験の目的と成果、新市民体育センター建設・造成工事の不用額が生じた要因、彦根シティマラソンオンライン開催の効果、消防施設費車両整備事業の修繕費への見解などについて。

市民産業建設常任委員会が所管する事項

【歳入】ひこにゃん商標貸付収入が減となった理由とその対応策、森林環境譲与税の充当先などについて。

【歳出】広告付き番号案内表示システムの収支、環境学習出前講座の内容、地域経済対策リフォーム事業の利用状況、テレワークオフィス整備事業備品購入費が減額になった理由、キャッシュレス決済ポイント還元事業のカタログチョイス事業と比較した効果、観光費行催事事業の行事間の補助金の差、環境保全型農業直接支払支援対策事業の内容、パークアンドバスライド社会実験の状況と成果などについて。

福祉病院教育常任委員会が所管する事項

【歳入】シルバー人材センター使用料の内容などについて。

【歳出】各がん検診精密検査未受診者への対応、特定不妊治療費助成要件緩和に伴う相談等の状況、保育の人材確保事業において補助金の要件を満たさなかった理由、災害時避難行動要支援者制度登録状況に対する見解、教育費におけるICT支援員配置事業の成果、スポーツエキスパート活用事業と部活動指導員配置促進事業の差異、地域家庭教育支援事業の内容などについて。

介護保険事業特別会計では、認知症サポーター養成講座の実施状況、認知症早期発見における脳健康チェックにより認知症が疑われる方へのフォロー体制などについて。彦根市病院事業会計では、患者紹介状況の中で紹介率・逆紹介率がマイナスになっている状況への見解、医業外収益の他会計補助金の内新型コロナウイルスに関する内容などについて。

討論

【反対】令和3年度は各事業とも新型コロナウイルス感染拡大の中で取り組まざるをえず、大変厳しい環境だった。その中で、収入減の市民や市内中小事業者への支援において、公平で納得のいく事業を工夫すべきであった。キャッシュレス決済ポイント事業は、先行きへの不安解消にはなっていない。財政が厳しいのであれば力のある事業所などへの工場等設置奨励金の支出はすべきではなかった。国スポ・障スポ関連事業にも多くの税金が費やされた。これまで当たり前としてきた事業を思い切って見直すべきだと考えることから反対する。

結果

議案はいずれも原案のとおり認定

※BPRとは、ビジネスプロセス・リエンジニアリングのことで、既存の業務内容やフロー、組織構造、ルールを全面的に見直し、再設計することを言います。

滋賀大学・彦根市議会連携事業 議員インターンシップを実施しました！

滋賀大学と彦根市議会との連携事業の一環で、令和4年8月10日から学生の夏季休業期間を利用して「議員インターンシップ」を実施しました。

市議会全体の活動を学ぶほか、個別活動では5名の議員が合計8名の学生を受け入れ、市議会議員としての活動を体験いただきました。

○期間：8月10日～9月29日

○内容：市議会見学、議会行事や会議に参加、議員活動への同行、議会での個人質問資料作成等



▲議場での集合講座のようす

市議会議員の地域や人のための活動は複雑で地味な労力の積み重ねでもある。この体験を経済学の学びに役立てたい。

経済学部 3回生 安田慶子さん

受入議員：上杉正敏議員

○活動内容○

・市民相談、福祉施設見学 他



政治が身近で行われていることを知り、彦根市民である自分が地域で担っている役割を考えさせられました。

経済学部 3回生 高田元貴さん



今回、人の目につかず、そして成果が分かりにくいことに対する取り組みの難しさ、重要性を実感しました。

経済学部 4回生 松本峻弥さん

彦根を盛り上げ、議会の強いイメージを払拭するためにご尽力されている議員の方々の姿、非常に印象的でした。

経済学部 2回生 山川瑛士さん

受入議員：黒澤茂樹議員

○活動内容○

・郡市別政務調査会、「道の駅」ミーティング 他



自分の知らない事だらけで最初は不安でしたが、楽しく学び、いろいろなことを経験できました。また機会があれば参加したいです。

経済学部 2回生 北野月葉さん

受入議員：赤井康彦議員

○活動内容○

・茶の湯条例制定に関する行政側の考え・請願者側の考えを知る
・地域コミュニティを学ぶ 他



現場に赴いて課題を発見することや、地域に住む人々の繋がりを増やすことの大切さを知ることができた。

経済学部 2回生 猪飼紗希さん



背中を見て学ぶと宣言し開始したインターン。共に汗を流した1か月半。経験を糧に政治の世界を目指します！

経済学部 2回生 前田倅汰さん

受入議員：馬場和子議員

○活動内容○

・HIKONE キレイキャンペーン隊活動、ラジオ出演
・会合や公開討論会の傍聴 他



大学生が議員さんの姿から「地域で地域のために働く」ことを直に学べたことは大きな成果でした。ありがとうございました。

滋賀大学 地域連携教育推進室 柴田 雅美

貴重な体験をたくさんさせていただけたと思います。短い間でしたがありがとうございました！

経済学部 2回生 黒瀬真奈さん

受入議員：和田一繁議員

○活動内容○

・大学と地域が連携するフェスタの運営 他



▲滋賀大学で行われた成果報告会のようす